

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公表特許公報 (A)

(11) 特許出願公表番号

特表平7-504442

第3部門第2区分

(43) 公表日 平成7年(1995)5月18日

(51) Int. Cl.⁶ 識別記号 序内整理番号 F I
 C 0 7 C 43/225 C 7419-4H
 A 6 1 K 31/135 9454-4C
 31/165
 31/17

審査請求 未請求 予備審査請求 未請求(全 37 頁) 最終頁に続く

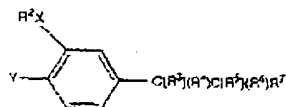
(21) 出願番号	特願平6-514949	(71) 出願人	セルテック リミテッド
(86) (22) 出願日	平成5年(1993)12月22日		イギリス, パークシャー エスエル1 4
(85) 翻訳文提出日	平成6年(1994)8月23日		イーエヌ, スルー, バス ロード 216
(86) 国際出願番号	PCT/GB93/02625	(72) 発明者	フレロー, グラハム ジョン
(87) 国際公開番号	WO94/14742		イギリス, ミドルセックス エイチエイ6
(87) 国際公開日	平成6年(1994)7月7日		3キューユー, ノースウッド, ウィーラ
(31) 優先権主張番号	9226831.7		ンド ロード 4
(32) 優先日	1992年12月23日	(72) 発明者	ボイド, イワン キャンベル
(33) 優先権主張国	イギリス (GB)		イギリス, パークシャー エスエル1 9
(31) 優先権主張番号	9315966.3		エイチビー, スルー, ハイグ ドライブ
(32) 優先日	1993年8月2日		2
(33) 優先権主張国	イギリス (GB)	(74) 代理人	弁理士 太田 恵一

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ホスホジエステラーゼ阻害剤としての三置換フェニル誘導体

(57) 【要約】

一般的な化学式(1)で表される化合物、並びにそれらの塩、溶媒和物、水和物およびN-オキシドが記載される:



(1)

この化学式において、Yはハロゲン原子またはR¹が随意に置換されたアルキル基である-OR¹基であり、Xは-O-, -S-またはR¹が水素原子またはアルキル基である-N(R¹)-であり、R¹は随意に置換されたアルキル、アルケニル、シクロアルキルまたはシクロアルケニル基であり、R²は水素原子またはハロゲン原子またはR¹が水素原子または随意に置換されたアルキル、アルケニル、アルコキシアルキル、またはアルカノイル基、またはフォルミル、カルボキシアミドまたはチオカルボキシアミド基である-OR¹基であり、同一であっても異なっても良いR¹とR²はそれぞれ-(CH₂)ₙAr

基であり、Arは酸素、硫黄または窒素原子から選択された1つ以上のヘテロ原子を随意に含む単環式または二環式アリル基であり、nはゼロまたは整数1、2または3であり、R¹は水素原子または随意に置換されたアルキル基であり、R²は水素原子または随意に置換されたアルキル基である: 本発明による化合物は強力な選択性があり、経口で有効なPDE 1V阻害剤であり、喘息その他の疾患の予防と治療に有効である。